

製材業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	工場内でトラックに材木の荷積み作業中、当該荷材をトラックに固定するため、万力結び（輸送結び）を施して、仕上げに当該ロープを力いっぱい引っ張ったときに、結び目が解けて肩に違和感を感じ負傷した。	60	10~29
1	9~10	高さ300mmの台車に乗った木質パネルを、2名でパネル上部と下部をそれぞれ持ち、同じ高さの台車に乗せ替え作業を行っていた時に、片方を持っていた作業者の腰に痛みが発生して動けなくなり、救急搬送された。	37	10~29
2	9~10	工場内で、フォークリフトから降りる時、下の角材で足首をひねり、負傷した。	45	1~9
3	13~14	会社敷地内にて、建前材料の積込を1人でやっている時、台を移動させようと足に力を入れた時に、力の入れ方が悪かったのか肉離れを起こして動けなくなった。	52	1~9
5	11~12	製材工場敷地内にある原木大割り挽き工場内において、スタッカー工程で作業していたが、段取り替えのためスタッカーでの作業が手空きになったため、横バンドソー設備の搬入送材チェーンした掃除の目的で、RT1号/2号兼用廃材幅広コンベアを経由して移動していた。動いているコンベアの上を歩いて渡り、コンベアから降りる時に（段差約20cm）右足を捻ってしまった。	20	50~99
5	14~15	作業中、製品を手を持って移動させようとしたら、お尻の辺りに痛みを感じた。	77	1~9

5	17～ 18	倉庫内において、フォークリフトに乗って積み込み作業をしていたとき、リフトから降りる際に厘木（短い木の棒）の上に足を着いたため、左足首を捻り骨折した。	49	30 ～ 49
6	14～ 15	製材所工場内で木材の選別及び結束の作業中、作業台の製品を押し上げようと踏ん張った際に、右足脛に激痛がはしった。	46	10 ～ 29
7	14～ 15	事務所作業場において、完成した垂木（縦4m×横45cm、重さ約5kg）を結束後、2人で運搬するため、中腰になり製品を抱え移動したとき（この日は約800回この作業を繰り返した）、以前より違和感があった腰に痛みが発生した。しばらく様子を見ながら業務を続けていたが、後日、動けないほどの痛みが発生した。	40	10 ～ 29
9	14～ 15	背板の仕分け作業中、大きめの背板をひっくり返したところ、左手首を捻挫してしまった。怪我をした当日、痛みはあったが仕事を続けた。	49	10 ～ 29
11	11～ 12	お得意先の工場で、木材の配達をしている時、木材（長さ4m、10kg以上）を1人でトラックから置場まで運び、積み上げている時に、高さ1.8m位に積み上げ中に左手首をひねり痛めた。	41	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html